## 2月定例会の概

会期 11月29日から12月15日までの17日間

### 会期中の主な動き

#### 特別委員会の開催

● 行政改革・基本計画等に関する特別委員会 ・・・・・・・12月9日

#### 【一般質問議員 16人】

#### 12月6日(火) 濱口 太史 中西 徹 文郎 楠本 佐藤 武治

#### 俊雄 杉山 山家 敏宏 谷口 和樹 鈴木 德久

## 12月7日(水)

玄素 彰人 林 隆一 岩井 弘次 堀 龍雄

#### 12月9日(金)

章浩 片桐 川畑 哲哉 益弘 中 拓哉 井出

## 12月8日(木)

### 議決結果・意見書等

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	2件	令和4年度和歌山県一般会計補正 予算	可決
条例案件(議員提出)	2件	和歌山県議会の保有する個人情報 の保護に関する条例 等	可決
条例案件(知事提出)	10件	知事及び副知事の給与その他の給 付条例の一部を改正する条例 等	可決
決算案件( " )	2件	令和3年度和歌山県歳入歳出決算 の認定について 等	認定
その他案件( " )	17件	令和4年度建設事業施行に伴う市 町村負担金について 等	可決
意見書	7件	成年後見制度の充実を求める意見書	可決
		北朝鮮による日本人拉致問題の早 期解決を求める意見書	
		走行距離課税の導入反対に関する 意見書	
		知的障害者・知的障害行政の国の対 応拡充を求める意見書	
		マイナンバーカードを強制する健康 保険証廃止の撤回を求める意見書	否決
		高齢者の移動手段の確保を求める 意見書	
		香料の成分表示や法規制の検討等 を求める意見書	

# 感染状況と今後の対応 新型コロナウイルスの

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

新型コロナウイルスの感

体制をどう確保するのか。 後の感染拡大に備え、入院医療 問 染状況はどうか。また、今

今後、新たな変異株の出現など 者の増加傾向が続いており、 10月中旬以降、新規感染

未来を拓く子供を育て

# による感染の急拡大を懸念して る環境作り

県はどう取り組んでいくのか。 問 型相談支援と経済的支援に 妊婦・子育て家庭への伴走

います。

また、今冬の季節性インフル

孤立感や不安感を抱く妊婦・子 育て家庭も少なくありません。 つながりも希薄となる中で、 核家族化が進み、地域の

これまでの知見を活かし、柔軟 医療機関等と連携を図りながら、 エンザとの同時流行も想定し、

に対応できるよう準備を進めて

います。

域の実情や医療機関の特性など 応できるよう、国の病床確保事 を考慮し、入院が必要な方に対 保します。 業を最大限活用し、病床数を確 入院医療体制では、県内各圏

対応等を行い、必要な支援等に つなげます。

当を支給することで、経済的負 出産した方を対象に、妊娠届出 援の実効性を高めます。 担を軽減するとともに、 時と出生届出後に、計10万円相 さらに、令和4年4月以降に 相談支

ていきます。 業を実施でき にこれらの事 るよう支援し 市町村が円滑 県としては おいて、面談や情報発信、相談 子育て世代包括支援センターに 児等の見通しを立てられるよう して、妊娠届出時から、出産・育 そのため、伴走型相談支援と

2年間の状況はどうか。 支援金制度の概要と直近

ものです。令和3年度は、 場合には、その返還を免除する て、大学等合格後に貸与する予 令和4年度は42名を内定者とし 校での学習状況をもとに選考を 文及び面接からなる検査と、高 大学等卒業後に県内就職等した 帯の大学生等に年間60万円、4 定です。 行い、46名に貸与を行いました。 年間で最高240万円を貸与し あり、能力が高い低所得世 この制度は、進学意欲が 小論

# 支援金 和歌山県大学生等進学

平均の108.5%を大きく上 回っている状況にあります。 バー率は、226・2%で、全国 4月1日現在における人口カ れらを優先的に指定します。 する効果が大きく、今後も、 爆風等からの直接の被害を軽減 ト造りの堅牢な建物については、 し指定を進めており、令和3年 また、地下施設やコンクリー については、市町村と連携 県内の緊急一時避難施設 そ

どに取り組んでいます。

さらに、教職への応募機会を

います。

に教員採用の追募集を実施して 保するため、令和4年度から秋 増やし、即戦力となる人材を確

# 緊急避難施設等の運用

教員の確保

教員の採用に関して、

۳

難施設指定に取り組むべきでは 対策として、地下施設の避 他国のミサイル発射への

う取り組んでいるのか。 県教育委員会では、優れ

の負担軽減、受験機会の確保な めて広報活動を行っています。 **度な専門性を備えた人材確保の** ための特別選考の実施や受験生 また、採用試験では、より高 て確保するため、他府県も含 た人材を将来にわたり安定